

オープンボールルーム部門出場

孫祖博・西村早織組

孫・西村組は一橋大学競技ダンス部出身、社会人4年目のアマチュアダンサーです。学生時代にカップルを結成し、今年で6年目となります。大学卒業後、孫は総合商社、西村は金融機関にそれぞれ就職し、日本国内でのビッグコンペ決勝進出を目指し、孫の海外出張時以外はなるべく毎日練習するようにしています。そのような私達がダンスの聖地 Blackpool に行くきっかけとなったのが JDC イーストジャパンのアマチュアスタンダードで優勝した結果、なんと Blackpool 遠征補助費を頂けることになったことでした。

「Blackpool」という、なにかとんでもないダンスの聖地があるらしいことは、ダンサーの端くれとして学生時代からなんとなく知ってはいました。それが、一気に現実味を帯びてきたのです。まさか社会人ダンサーの私達が憧れの舞台上で踊る機会に恵まれることとなり、それからの練習に一層熱が入りました。

そして、ついに渡英、Blackpool 入り…。普段は Youtube でしかお目にかかれなような世界トップクラスの一流選手がレストランやスーパーマーケットに普通にいた環境に驚きつつも、私達が出場する「アマチュアボールルーム本選」までは試合観戦と練習に夢中になる数日間を送りました。

試合会場併設の練習スペースは本気で練習する各国からの選手で常に混雑しており、彼らの熱気は私達にとっては非常に大きなエネルギーとなりました。もちろん、練習スペース以外の廊下やオープンスペースでも選手たちが練習に励んでいました。そんな彼らに負けないように私達も文字通りスキマ時間と場所を見つけては練習に打ち込みました。フロアの中か外かを問わずに熱気が充満しており、このような大舞台で存分に踊るにはもっともっと努力しなければ…と痛感しました。

いよいよ試合本番。素晴らしい会場、綺麗な照明、最高の音楽で無我夢中でフロアを踊りぬけ、予備予選の一次予選は無事通過できました。二次予選からはシード選手が入ってくることになり、会場の熱気とレベルはさらに上昇しました。この大舞台を前に緊張している余裕すらなく、持てる力を全て出し切って二次予

選に挑みましたが、残念ながらそこで敗退となってしまいました。

予備予選の二次予選と突破すれば本選出場となり

Blackpool が誇る生バンドでの競技となります。やはり生バンドが奏でる格別の音楽で踊りたかった為に悔しい思いましたが、本選を観戦して勝ち上がった選手



とのレベル差を実感しました。身体の使い方、男女のポジション、表現力、カップルの雰囲気、パワーなど私達に足りないものばかりで、悔しさよりももっと上手になりたいという気持ちが湧いてきました。

この経験を通じてさらにダンスが好きになり、もっと上手になりたいという想いが一層強くなりました。遠征も終盤に差し掛かり、私達に足りないものやどういダンスを踊りたいかといった方向性について、自然と二人の意見がまとまりました。アマチュア4年目の今だからこそ試合から多くを学びとれたのだと思います。

末筆となりまして恐縮では御座いますが、この場をお借りしてこのような素晴らしい機会を下さった Japan Amateur League の皆様、JDC の皆様に篤く御礼申し上げます。社会人ダンサーとして日頃活動している私達にとって補助金を頂ける意義はとて大きく、今回御陰様で世界の大舞台に一步踏み出すきっかけとなりました。Blackpool 遠征で感じたこと、得たことひとつひとつを大切に、これからも日々精進していきたいと思っています。